

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	区域まちづくり事業（堺区）			事業番号	211-001
担当部署名	堺区役所	局		部	企画総務 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3
			有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画	堺区チャレンジ（challenge）プラン		
3	事業開始年度	平成 28 年度	点検年度	令和 5 年度
4	実施根拠（根拠法令、条例等）			

事業の概要

5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁、各区、地域団体・市民				
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	堺区民	対象数	148,563	単位	人
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	区民のニーズや区域の実情などをふまえながら、区役所が主体的に区域の特性をいかした魅力ある取組を推進することを目的とする。				
8	事業内容（目的を達成するための手段） ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>当事業は、区が主体となって行う個別事業の総体であり、堺区の特性に適合する様々な事業を実施する。（堺区ふれあいまつりなど）</p> <p>区域の歴史的・文化的資源を活用した賑わい創出を目的とした事業、地域における安心・安全の確保や防災力向上を目的とした事業などのソフト面へアプローチする事業を実施する。</p> <p>本庁施策との整合性を踏まえながら、年度途中でも臨機に対応しながら事業を進める。</p> <p>なお、令和3年度当初から、区域まちづくり事業のうちのハード事業に係る区局連携予算について、事業所管局へ移管しており、事業費が大きく減少している。</p>				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	防災士資格試験合格者 等				
10	公民連携・協働事業	自治会、まちづくり協議会				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	区民ニーズや区域の実情などをふまえ、主体的に区域の事業を推進					
	当該目標を設定した理由	区域の現状や課題、特性を踏まえながら地域の課題解決・魅力向上に向けて取り組む必要があるため				
	目標に対する実績	区民ニーズや区域の実情などをふまえながら、区域のまちづくりを推進している。				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
	事業実施数	事業	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	29	23	19
			実績値	20	15	
		達成率	69%	65%		
当該指標を選定した理由	区民ニーズや区域の実情などをふまえながら、区役所がより主体的に区域のまちづくり事業を推進するため					
目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度からハード面の環境整備事業がなくなったことや、新型コロナウイルスの影響を考慮し、目標値を下方修正している。					

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	区域まちづくり事業（堺区）	事業番号	211-001
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費 (a)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	143,574	68,561	41,384	8,486	42,908
13財源内訳					
国支出金					0
府支出金					0
市債	54,600	33,300			0
その他（区民まちづくり基金等）	88,961	77	5	70	5
受益者負担金(使用料、手数料等)	13				0
一般財源	0	35,184	41,379	8,416	42,903
14人件費 (b)	35,183	36,798	22,448	22,448	22,478
15年間経費(c)=(a)+(b)	178,757	105,359	63,832	30,934	65,386

事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	決算				R3	決算		
16	負担金（負担金）	R3	決算	1,059	1,059	使用料及び賃借料（IT機器借上料）	R3	決算	0	0
		R4	予算	17,400	17,400		R4	予算	1,340	1,340
	委託料	R3	決算	3,895	3,895	需用費（印刷製本費）	R3	決算	368	368
		R4	予算	7,869	7,869		R4	予算	937	937
	修繕料	R3	決算	0	0	報償費（謝礼）	R3	決算	162	162
		R4	予算	5,367	5,367		R4	予算	710	710
	消耗品費	R3	決算	1,968	1,968	旅費	R3	決算	1	1
		R4	予算	4,912	4,907		R4	予算	600	600
	工事請負費	R3	決算	0	0	その他	R3	決算	1,033	1,033
		R4	予算	2,500	2,500		R4	予算	1,273	1,273

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		事業実施数	事業
② 上記①にかかる年間経費	千円	105,359	30,934
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	5,267,950	2,062,267
備考（算出についての説明等）			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた事業の中止や内容の見直し等を考慮しなければならず、実施された事業数については、令和2年度と比べると減少している。
令和3年度から、区域まちづくり事業のうちのハード事業に係る区局連携分予算について、事業所管局へ移管しており、単位あたりの経費、事業費が大きく減少している。
YouTubeチャンネルによる堺区PR、行政サービスの向上、自転車教室の参加人数の増加、堺区防災士の増加など費用対効果は高い。
新型コロナウイルスの影響により、令和3年度決算と令和4年度予算にも大きく差がある。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 堺区は、都心地域では培われた歴史や文化に触れ、刃物、自転車等の伝統産業が集積し、関連企業も立地するなど、様々な都市活動が実現できる市街地と臨海部では海と触れ合える環境にある区である。
人口は、高齢者の増加とそれ以外の年代の減少により、令和4年4月末時点の65歳以上の割合が27.7%と市平均を下回っているものの単身高齢者が市内で最も多い区となっている。
昼間人口が夜間人口に比べて多いこと、増加する観光客への対応、単身高齢者が市内で最も多いことなどから災害時はもとより平時においても孤立が懸念されている。
これらの地域の特徴を踏まえ、「堺区自転車スタート推進事業」、「ひとり暮らし高齢者等あんしん事業」、「堺区防災士資格取得促進事業」などを実施し、魅力あるまち実現に寄与している。
令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い大きく変化した区域を取り巻く状況に応じて、事業の規模縮小等を検討しながら、区の実情や区民のニーズを把握し、さらに区民協働、本庁所管課との連携により区域の特色あるまちづくり事業を実施する。